



KUSHIRO
No. 33

釧路市PTA連合会

●発行／釧路市PTA連合会●事務局／釧路市城山1-14-35 城山小学校内 ☎(0154)41-1502●編集／市P連広報・情報専門部会●印刷／木内印刷有限会社

釧路教育研究センター研修講座「情報モラル教育」
釧路市PTA連合会健全育成「情報モラル講習会」

平成27年9月24日
～不安な時代を
生きる
子どもたちを
どう支えるか～

スマホ・ネット世代の子どもたち

スマホ世代の子どもと向き合うために

～家庭や学校でできる簡単・確実な対応策～



講師
石川 結貴氏
〈作家・ジャーナリスト〉

STEP1 お金が見える

毎月いくら使っているのか、子どもに見えるようにする。

携帯電話会社から送られる請求書や通話料の明細書を、冷蔵庫など目につく場所に貼りましょう。自分がスマホやネット利用にどれくらいのお金を使っているのか、子ども自身が知っておくことが重要です。

STEP2 支払い者が「見える」

スマホは、「タダではない」と自覚させる。

子どもが使うスマホやネット利用料金は、お父さんお母さんが働いて払っています。親はどんな仕事をして、得られた収入の中からどれほど子どものために支払っているのか、具体的に話しましょう。このような金銭教育は、ネット上の「無料」に慣れた子どもには有効かつ必要なことです。

STEP3 自分の利用状況が見える

子ども自身が自分の利用状況を知る。

日付入りカレンダーを利用し、毎月のネット利用時間、利用内容を記入させます。

1カ月の利用時間を合計すると、数百時間になっている場合もあります。この時間ですでに別のこと、たとえば勉強や読書、スポーツ、趣味などについて、子ども自身に考えさせましょう。

STEP4 スマホやネットのメリットが見える

スマホやネットは使い方の次第。

スマホは怖いものではありません。スマホやネットを利用することで、勉強、趣味、生活に役立つ情報がたくさん得られます。どんな機能をどのように使うと「メリット」になるのか、親子で話し合みましょう。せっかく手にした機器を上手に活かす方法を考える、

STEP5 お互いの気持ちが見える

それが子どもの自覚、自主性を促します。

スマホではなく、子どもの心を見る、自分の気持ちを見せる。

子どもがSNSやゲームに熱中していると、おとなはつい心配になります。無断でスマホの中を覗いたりしがちですが、こうした方法はあまり得策とは言えません。子どもが何をしているのかわからないなら、子どもも本人に聞きましょう。もし、何も話してくれないなら、それに対する自分の気持ち（悲しい、寂しいなど）を伝えましょう。

ともすれば、おとなは子どもの気持ちを聞きませんが、一方で自分の気持ちを伝えることも忘れないようにしてください。



被害に遭ったり、心配ごとがある場合はすぐに行動。
あらかじめ専門の相談サイトを見て、情報を収集しておきましょう。

- ①警察庁インターネット安全・安心相談
(各種のサイバー犯罪や被害に対応する専門機関)
- ②北海道の場合 北海道警察本部サイバー犯罪対策課 電話011-251-0110
- ③消費者生活センターや法務局人権相談センター
- ④インターネット・ホットラインセンター
- ⑤インターネット人権相談 等多数あります。

12.おとなと子どもの関係づくり

具体的に 伝える 見せる
定期的に 検討 相談
効果的に 教える 認める

子どもを取り巻く環境が変わっている今、コミュニケーションには工夫が必要!

ネット利用、犯罪や不良行為を防ぎたいなら...

SNSで相手にお金を要求
下書きの写真で真性を試す
おふだけの様子を動画投稿

解決(20歳以下)
10年以下の懲役
50万円以下の罰金
罰金(50万円) 懲役(5年) 罰金(50万円) 懲役(5年)

8.おとなと子どものコミュニケーション不全①

◎おとなに話したいことがあるが忙しそう(怒られそう)
◎おとなから一方的に指示されたり、仕切られて自分の意見を聞いてくれない(自分に任せてくれない)
◎もっとおとなの話や経験が聞きたいのに、何も教えてもらえない(自分を頼りにしてくれない、信頼してもらえない)

◎特に何も言っていないので、大丈夫だ
◎説明しなくてもわかっているだろう
◎自分の仕事が忙しい
◎子どもにやらせず自分がやったほうがうまくいく

プルタブが車椅子に!!

平成27年8月24日(月)午後3時より、釧路市旭町にある社会福祉協議会会議室にて車椅子の贈呈式がありました。各学校のPTAや児童、生徒達の協力により集められた空き缶のプルタブは平成26年度末の時点で2100kgに達しており、環公害防止連絡協議会との協定に基づきリングプル800kgで車椅子1台と交換する。とのことから、この程、



健全育成委員長
武田 誠一氏

車いす2台「大切に使う」

市PTA連合会プルタブ2トン集め寄贈

釧路市PTA連合会(住尾盛会長)は、去る8月24日、釧路市社会福祉協議会(清水幸彦会長)に車いす2台を寄贈した。

市内の小学校で集めた缶ジュースなどのプルタブを10年にわたって総量2・1トン分を集め、車いす2台と交換した。

車いすは、けがや病気の人が無償で貸与したり、市内小学校で子どもたちが車いすに乗りたり押ししたりして学ぶ福祉教育に使われる。

平成27年8月26日
釧路新聞掲載



平成27年度

期日 平成27年10月31日(土)

会場 釧路市立鳥取西小学校

第58回 釧路市PTA連合会研究大会

〔大会スローガン〕 北の大地ではぐくもう 生きる力と夢・未来

〔大 会 主 題〕 21世紀を担う子どもたちを育てるPTA活動 ～自立する子を共に育む家庭と地域の教育力～

子育ての原点からの出発
としてみました。

まず原点という言葉、それから三者の連携と基礎基本の三つにしばってお話をしたいとおもっております。

今の日本の社会は本当によくなりました。しかしこのままではだめなんです。何故かという子どもが育っていないんです。

良い子はたくさんいる。ほとんどいいんだよ。だけど、皆さん思いませんか？本当にこのままで良いのかな？ という気がする。これは、だれに責任があるかというところ、昔教えた先生方ではなく、昔教えた子どもたちが今のみなさんなんです。ですから、私たちの年代がまず反省してもらわなきゃならない。全然反省する気がない、思いませんか？ そういう人たちをさしている訳ではない、この日本の国を一生懸命よくしようと思って頑張

ってきたんだ。それは認める。なんか、忘れ物をした気がする。それは、全部の子どもたちにいえる、ものを言わない大人、ものを言えなくしたPTA、先生方も大変。

昔と今の子育て

一つだけ確認したいことがある。どんなに歴史が変わっても、世の中には変わってはいけないことがある。しかし、時代が変わるごとに変わらなきゃいけないことがある。けじめをきちんとしなかったから、こういう時代になったんだと私は思う。

昔の子育てには、本当に貧乏で貧乏から学ぶことがいっぱいあった。一つめには、我慢。二つめには、お互いを助け合う。三つめには、身の丈の生活をする。今の子どもたちはどうですか？我慢できずにすぐにされる子どもが多いです。昔の親の子育てについて

本当に良い勉強をしてきていると思う。鉄は熱いうちにたたけ、これをすっかり忘れてしまった今の時代です。

今の親に言いたい事は、親が子どもと一緒に成長してもらいたい。子どもが成長する時に親も変わってほしい。しかし、親は成長しない。まず一番先に親がやらないといけない事は、子どもに我慢させる親にならなきゃならない。子どもに我慢を教えたか教えてもらわないと困る。まず我慢だけは教えてもらわないと困る。これが一点目。

二点目は、叱られる体験を低学年のうちに体験をして欲しい。叱れる、叱られるあまりしていない。順調に成長してしまつて、社会人になって人が話をしている時におしゃべりを注意したら、おしゃべりしても聞いている、すみませんと言えばすむことなのに叱られた経験がないから理解できていない子が多い。年代によってきちんと指導をし



なかならないことを忘れてしまったこと、これがすごく大切な気がする。だからこの点は反省しなければならぬ。

三点目は、共に悩める親。子どもが悩んだ時、苦しんでいる時に本当に我が子がかわいいんだつたら、一緒に泣いてやる。これが子どもと一緒に悩んで共に関心する親でいたきたい。

今の子どもたちは過保護

今の子どもたちは、だらしない。札幌に知人が出

平成27年度 釧路市PTA連合会 役員名簿

役 職	氏 名	担当部会	所属学校等
顧問	吉田 信二		
会 長	住尾 盛		昭和小学校
副 会 長	小笠原健容	広報情報	城山小学校 (Aブロック運営委員長)
"	大谷 英治	研 修	中央小学校 (Bブロック運営委員長)
"	石森 友美	広報情報	東雲小学校 (Cブロック運営委員長)
"	大越 拓也	健全育成	鳥取小学校 (Dブロック運営委員長)
"	林 隆浩	研 修	阿寒小学校 (Eブロック運営委員長)
"	栗田 孝子	健全育成	北中学校 (母親委員会代表)
"	森 富輝	広報情報	鳥取西小学校 (小中学校長会代表)
"	小林 裕幸	研 修	北陽高等学校 (高P連代表)
"	川辺 大樹	健全育成	湖畔小学校
監 査	天方 智順		湖陵高等学校 (単P会長代表)
"	高橋 幸士		鳥取西中学校 (小中学校長会代表)
"	松野久美子		青陵中学校 (母親委員会代表)
事務局長	尾崎 文雄		
委 員 長	松並江里子	研 修	清明小学校
"	武田 誠一	健全育成	東雲小学校
"	藤王由美子	広報情報	鳥取中学校

張に行つた時にたまたま共通一次試験の日だった。ホテルが母親と子どもで満室だったということ。就職試験にまで親がついていく、そんな子どもたちが日本を守っていけるはずがない。ツルでさえも春になると子どもを突ついたりけとばしたりして子離れするのに、なぜ人間が出来ないのか？ ツルより悪い。

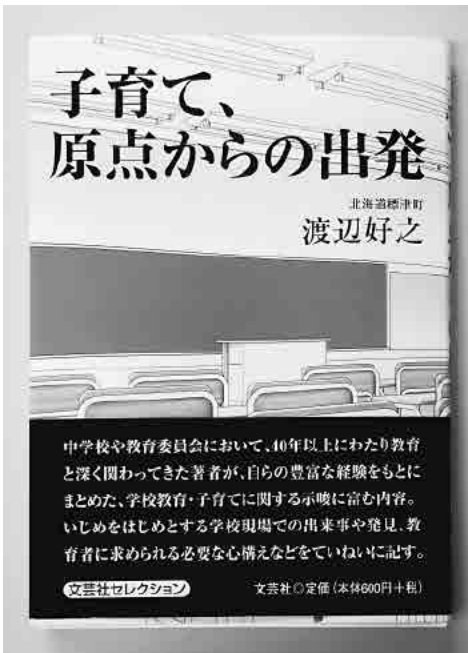
スマホを持つ上での約束ごと

1. 情報端末機の管理者は保護者であることを明確に伝えましょう。

2. 適切な使い方を親子で話し合い、ルールを決めましょう。

3. 子どもがルールを守れない場合、一旦没収。没収して改めてルールを決めましょう。

何故、話しをしたかという日本をよくするため、国をよくするためには、我々が頑張らなければならぬ。やろうと思えばなんぼでも出来る。悪いものは悪いといひましよう。



日本の教育は道東から

私が教職で厚岸にいた時、その当時、釧路の先生方は日本を変えるのは道東から日本の教育を変えるのは、東からと言いました。

何故だかわかりますか？

正規の免許を持つている先生がいなかった。負けたくない。そんな思いから立派な先生が多かった。だから言えたのです。

教育はせめて東から釧路から変えていきましよう。そのためには、三者がきちんと連携していきましよう。みんな心ではわかつている。力を合わせてみんなである。

やらなければならぬでしょう。ひ弱な子どもたちをつくってはならない。

これからの釧路

どんな子どもであっても先生の思いや愛が本物であるかどうか子どもは見抜くことができる。父さん、母さんが本当に愛してくれているか見て。最後に共に泣き共に悩んで成長していく親が本物である。

今日の話を聞いてPTAはどうするのか？ 学校はどうするのか？ 地域は？ 皆がやれる範囲で釧路全体がどう子どもに對してやっていくのか、出来ることか

平成27年度

釧路市PTA連合会研修専門部研修会

講師 釧路市教育委員会 家庭教育推進員 日野 登 先生

「命の大切さを伝えるために」

～ 今、保護者として何をすべきか ～

・とき 平成27年度10月21日水
・ところ 釧路市生涯学習センター7階学習室



略歴
昭和55年から教師として教壇に立ち、教頭、校長、釧路教育委員会中央室長としての行政経験もあり、定年退職後は、釧路市教育委員会家庭教育推進員として市内各所にて家庭教育などについての講演を行っている。

1. 命の大切さを伝えるとは

今の子どもは「命」というものについて、知識としてはきちんと理解しています。しかし平均すると年間300人くらいの子どもの自らの命を絶っているのが現状です。※表1

命の大切さを伝えるということは、自己肯定感を高めることに勝るものはないと言いきりません。家族から認められている、必要とされている、愛するかけがえのない存在であるという自信が、自己肯定に繋がってきます。家庭や学校の中で、逆境を乗り越える経験、「ま、いいか」と言える経験を繰り返す事で、より自分



2. 保護者として何をすべきか

いつでもどこでも誰にでも起こりうる事と自覚し、子どものおかれている環境を理解し、説教や励ましではなく、子どもに寄り添った良き聴き手として、子どもに「伝えるスキル」を身につけさせてあげましょう。

子どものSOSのサインをキャッチしたら、「まさかウチの子に限って」ではなく「もしかしたら？」という発想で、教師、カウンセラー、医者といった信頼できる人へ伝えるべく、ゲートキーパーとなりましょう。

実態として、児童生徒の自殺者の推移グラフがあります。この数字、皆さんはどのように捉えますか？

※表1 平成13年以降の児童生徒の自殺者の推移（内閣府自殺統計）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
総 数	308	306	287	353	336	320
小学生	9	1	7	13	8	8
中学生	74	79	76	71	78	98
高校生	225	226	204	269	250	214

研修会に参加して

子どもの現状を自殺者の数や統計を基に説明され、SOSのサイン、また保護者としてすべきこと、子どもが伝えやすくなるような大人になるための心得など、ていねいでもわかりやすい講演でした。命の大切さを伝えるためには子どもの自己肯定感を高めていき、自分の命を大切にすることで他人の気持ち、命を大切にすることが出来るのだと強く感じました。

第40回 母親研究会

平成27年10月27日(火) コア鳥取

こどもの可能性は無限!!

～ 親の肯定感の高さが子どもを育む ～



講師
釧路工業高等専門学校
一般教育科

親としての役割!!

回転寿司にたとえます。好きなネタが回ってきた時に、すつと取る人もいれば一回待とうと思う人もいます。その時に、自分の子どもがすぐ手を伸ばしてワンチャンスをつかっている積極性を持たないと、この世の中を渡っていくけないんじゃないかと思うんです。誰もチャンスがあるんだという前提に立っていかなくてはならない。最初からダメだと思っている子ども達には親が「そんなことないんだよ」と言っておけるように、これからでも遅くないので様々な経験を沢山した方がいい。

成功の責任追及を!

子どもが失敗した時「なにやってんの」「なんでこんなことしたの」と問い詰めることが多くなってしまうませんか？ そうではなくて、成功した時こそ、何をどうやったのか、どれくらいやったのかを聞くと、子どもは喜んでいろんな話をしてくれます。

ぜひ、失敗の責任追及ではなく、成功の責任追及を心掛けてあげると良いと思います。

子どもの良さ発見力をつける10のポイント

- どの子にも良さがあり、大小の良さを放っている
- ひとつの価値観で子どもを見ず、多角的に見る
- 子ども全体をただ漠然と見ず、焦点を絞って見る
- 子どもをいろんな生活場面で見ると
- 瞬間だけを見て判断せず、継続的に見る
- できるだけ多く接する、ともに動いてみる
- 子どもがやりたいということをいろいろやらせてみる
- その子についての良さ、情報を収集する
- 同僚や子育て仲間などのウォッチ力に学ぶ
- 自ら感動する心を養う

テレビ番組の映像を交えながら、わかりやすく楽しい講習会でした!



参加者の声

教授 三 島 利 紀 氏

略歴
1985年、東京都立町田工業高等学校、教諭を皮切りに、北海道釧路湖陵高等学校、教諭、北海道紋別北高等学校、教諭、国立釧路工業高等専門学校講師、助教授、現在、教授として社会的活動等にも貢献されています。

チャイルド1DAY 仕事一日体験



釧路子どもインターシップ事業

いらっしゃいませ

ありがとうございました



チャイルド1DAY仕事一日体験事業は、小中学生に働くことの大切さ、喜び等の体験と共に、地元商店街の理解を深めてもらうこと等を目的として、平成14年から行っている“子ども体験事業”で、今年で14回目の開催です。

●事前にいただいた質問
①見やすく、楽しい広報紙を作るにはどうしたらいいですか。
②広報紙のレイアウトについて教えてください。
③小規模校の広報紙の内容について、工夫の仕方について。
④広報紙でアンケート企画を行う場合、どのような事に気をつけなければならないでしょうか。
⑤広報紙に写真を使う時や表紙の写真を使う時の注意について。

●紙面作りに大切な4つの要素
①希。奇。(まれ、き) 紙面を作る時に気を付けている③について、自分達の学校に於いて何がニュースなのかを見つけて欲しい。学校の中での発見を皆で共有していく事。
②笑。嗤う。(わう) 各広報紙にはとても良い笑顔の写真が多いので、とても良いと思います。笑顔は、対する人が心を開く力があります。
③天。(てん) 自分の視点だけで会話しても共感されないものです。客観的な視点で捉える事が大切です。記事を集める方法の1つとして、インタビュー形式にして取材してみると面白いかもしれません。レイアウトで読み手の目を引き付けて、限られたスペースの中での情報を提供する。今後の広報紙作りの参考にして頂ければ幸いです。



講師 島田 季一氏

北海道新聞社釧路支社
報道部次長

平成27年7月31日 生涯学習センター7F 学習室

広報委員会「研修会」
『楽しく広報紙を作ろう』

平成26年度
広報紙コンクール

市P連広報紙コンクール

○応募数 小学校13校
中学校5校

○最優秀賞

・景雲中学校PTA

○優秀賞

・昭和小学校PTA

・光陽小学校PTA

○佳作

・清明小学校PTA

・愛国小学校PTA

・美原中学校PTA

道P連広報紙コンクール

○優秀賞

・美原中学校PTA

○審査員特別賞

・景雲中学校PTA

○奨励賞

・光陽小学校PTA

・清明小学校PTA

・愛国小学校PTA

・昭和小学校PTA

編集後記

今年も沢山の地域の皆様、各学校PTAの皆様、児童・生徒の皆様を支えられて、市P連広報紙を発行する事が出来ました。

携わって頂いた皆様に心より感謝を申し上げます。

今後も宜しくお願い致します。

〈市P連広報委員一同〉